information

富士市民活動センター　コミュニティｆ

コミュニティｆは富士市内の市民活動を応援するための施設です

会議室

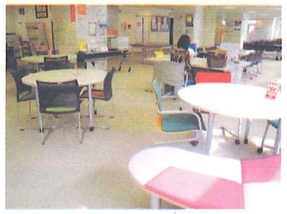
ミーティングルーム

常時は1ブース12名の配置ですが、人数や会議スタイルによって50名ほどまで対応できます。

特別会議室

定員12名の完全個室の会議室です。経営的な会議や、相談業務などにご利用下さい。

交流スペース



ネット閲覧PC3台常設。自動販売機もありますので、ちょっとした打合せや休憩にご利用下さい。

印刷コーナー

● 事務所コピー＆レーザー出力

モノクロ　10円　カラー　50円

● 大量印刷

オルフィス

片面・両面印刷対応。資料作成などにご利用下さい。

大量印刷は合計10枚以上から

	普通紙	厚手マット紙	両面加算
白黒 A4	3円	6円	2円
白黒 A3	4円	9円	2円
カラー A4	11円	14円	10円
カラー A3	12円	17円	10円

● 大判印刷

大判印刷

A1判・A2判・横断幕の印刷も可能です。
- A1判…400円
- A2判…800円
- 横断幕(1mあたり)…1000円

● 断裁機、折り機、丁合機

裁断機

最大断裁厚約200枚、断裁奥行：310mm(A4長辺)まで裁断可能です。

無料

折り機

ご希望の折り方に折る機械です。用紙サイズにより不可ありです。

無料

丁合機

複数の印刷物を頁順に並べ揃える機械です。

無料

コミュエフはみ出し情報

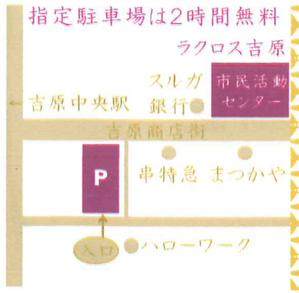
会議室の空き状況をチェック！

4月より富士市役所ホームページの「富士市公共施設案内・予約サービス」にて、コミュニティｆの「会議室空き状況」が見られるようになりました。但し、インターネットからの予約申込は出来ませんので、必ず来館またはお電話にて予約をお願いいたします。

早いもので09年も残すところわずかとなりました。紙面でも取り上げたように今年も多くの市民活動が行われ、パワーをもらった一年でした。来年もコミュニティｆをよろしくお願いします。

編集後記

ご利用できるサービス　印刷機、大判出力、折り機、丁合機、交流サロン、メールボックス、ロッカー、インターネット利用、その他相談等　会議室の予約やご相談はお気軽にお問合せ下さい



富士市民活動センター
コミュニティｆ

〒417-0051 静岡県富士市吉原2-10-20
ラクロス吉原　2階
Tel 0545-57-1221　Fax 0545-57-1091
E-mail info@com-f.net

開館時間
月曜ー土曜　10:00～22:00
日曜・祝日　10:00～17:00

年末年始閉館日　2009. 12. 29～2010. 1. 4
特別休館日　2010. 1. 28

富士市民活動センター・コミュニティｆは、ＮＰＯ法人東海道・吉原宿が指定管理者として運営を行っています

特　集

巻頭インタビュー

私と市民活動

～人と人のつながりを大切に～

きらり交流会議　委員長　**松本玲子**さん

この一年に行われた注目の活動を紹介!!

市民活動アワード2009

富士市民活動センター
コミュニティ ニュース f
2009.12.22　第8号

編集・発行　富士市民活動センター・コミュニティｆ
〒417-0051 静岡県富士市吉原 2-10-20
TEL 0545-57-1221　FAX 0545-57-1091
http://www.com-f.net

連　載

Community f Photo Gallery

市民活動団体からの催事・お知らせ　掲示版

コミュニティｆ Information

この広報誌は富士市民活動センターの印刷機「オルフィス」で印刷されています

私と市民活動
～人と人とのつながりを大切に～

この秋、富士市では「男女共同参画宣言」が行われ、誰もが住みやすいまちづくりへの取り組みが新たにスタートしました。今回は、男女共同参画都市宣言実行委員会の委員長を務められ、他にも様々な活動に取り組んでいる松本玲子さんに、ご自身の市民活動に対する思いをお話いただきました。

松本玲子さん

●プロフィール●1942年生まれ、富士市在住。'70年代半ば、幼稚園の母親クラブでの活動をきっかけに、30年間にわたり市民活動に携わる。現在は「きらり交流会議」の委員長をはじめ、みちの会(母親委員会OGの学習団体)、福祉分野のNGO、福祉法人の理事、民生児童委員、社会教育委員などを務める。地域活動では、本を通して子どもを育む「紙ふうせん文庫」を主宰し、25年続けている。

――まずは、松本さんが市民活動に関わるようになったきっかけから教えてください。

松本　1973年頃、夫の仕事の関係で長泉に住んでおりました。あの当時、子供が通う幼稚園の母親クラブの図書部に入り、そのお母さん仲間で、「移動図書館」をつくりたいと思いましてね。そこで行政にお願いしたところ、快く賛同してもらい、町から車と運転手を提供していただけることになったんです。町の図書館の本を積んで、定期的に巡回し、各ステーションのお世話役は私たち母親が引き受けました。

この活動が、私が関わった最初の市民活動ですね。それはうれしかったですよ。自分たち母親の要望で実現したこの体験は、次につながっていくきっかけとなりました。

――70年代は、社会で活躍する女性がまだ少ない時代でしたよね?

松本　そうですね、PTAなど教育の場でも、男性が役についているのが当たり前でした。PTA活動をしていた当時、役員の選出でこんなエピソードがありました。適任な女性がいらしたんですが、「本家の姉さんがまだ役員をしていないから・・」と、断られてしまいました。今では考えられない話ですが、当時はまだ古い風習が根付いていましたね。

――富士ではどんな活動をしていましたか?

松本　まず、学校のPTA活動に携わりました。当時組織の中心は男性でしたが、子供と長く接している母親こそ、PTAで重要な役割を果たしていくべきではという考えが出始めてきていました。そしてPTA組織の中に母親委員会というのが置かれ、私は初代委員長となりました。

その後、知人に福祉のシンポジウムに誘われたことがきっかけで、福祉の活動を始めました。この「福祉のつどい」の定例会では、毎月勉強会を開いていて、それは今でも続いています。常に学び、現場からの声を行政に届けていくんです。また、私たちのまちをもっと良くしたいというメンバーが集まり、仕事を終えてから夜遅くまで話し合ったり、よく知恵を出し合ったものです。一生懸命でしたね。「どうすればこれが良くなるか」「こうしたらどうか」ってね。新幹線の駅ができる頃には、駅名を「富士山駅」にしようとJRへ提案しました。

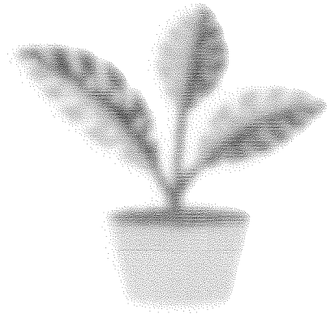
1989年、通信制の婦人大学で女性問題を学んだことで、日本のみならず、アジアや諸外国の女性たちの活動や考えを、より深く知りたいと思いました。男女共同参画の問題に関わり始めたのは、この頃ですね。

その後数回にわたり、海外研修へと出かけました。1993年に県の海外派遣選抜に合格し、デンマーク、ハンガリー、フランスへ行ったのが最初でした。

まず、事前研修があり、そして事後研修での発表が何度も続きました。海外での研修はハードでしたね。訪問先の国々では、日本とは違った、様々な感動や驚きがありました。デンマークをはじめ北欧の国では、環境、教育、男女共同参画などが日本に比べて充実しており、見習うべきものばかりでした。そして、社会福祉に対する市民の意識の高さを実感しました。

また、北京で行われた「第4回世界女性会議NGOフォーラム」では、貧困が作り出す女性たちの様々な問題を知り、女性の人権について考えさせられました。このフォーラムの会場で、当時軟禁されていたミャンマーの指導者、アウンサン・スーチーさんの挨拶する姿がビデオレターで映し出されました。その時会場に集まった千人以上の女性からのどよめきが起こりました。あの光景が今でも忘れられません。

世界を知ることで、私たち日本の実情が見えてきます。海外での体験によって、広い視野に立った考えができるようになり、自分自身のステップアップになりました。



――富士市の市民活動はどう変わってきたと思いますか?

松本　そうですね、この30年で富士市の市民活動はずいぶん変わったと思います。最近では、男女共同参画課がなくなって、活動が縮小傾向にある市町もありますから、そう考えると富士市は幸せかもしれません。

今までは、このまちを良くしていこうと、課題を解決するために集まり、一緒に行動をしてきましたが、現在は、NPO等の組織ができ、目的別の活動が非常に活発化されてきたと思います。市民意識が高まってきたことは、すばらしいと思っています。

それと、富士市の市民活動にご尽力された石丸さん(※)という女性についてお話しましょう。彼女との出会いは、私に大きな影響を与えました。この人のおかげで富士の市民活動が広がったと言っていいかもしれません。

彼女は、市民にとって今、何が必要なのか課題を見つけ、その問題をみんなで考え行動していく姿勢を持っていました。人と人とのつながりの大切さを教えてくれ、若い世代のリーダーを育てていました。本当にすばらしい方だと思います。

※石丸恵美子さん('08年没)。消費者運動、高齢者問題、など様々な市民活動に取り組み、富士市(２市1町合併後)で初の女性市会議員となる。('91～'03年)

―― 市民活動を通じて、得たものは何でしょうか？

松本　「お互いを理解し合う」ことでしょうね。人は一人では何もできません。ですから、まず相手の話を聞くことが大事だと思います。聞くことによって、相手の考えを知ることができる。それは、自分になかったものを知ることでもあり、お互いに誤解していたことが解けたりもするのです。

それと、活動を通じて多くの人たちと出会えたこともすばらしい体験でした。私、外でみんなと活動しているのが好きなんです。人と会っているのが楽しいから、いろいろチャレンジしてみたくなるのでしょうね。

―― 松本さんの育った家庭環境は、どんなでしたか？

松本　一部の人だけでなく、みんなの幸せを考えることが大事であると、両親から教わりました。お金持ちだから偉いんじゃないんです。物質的な豊かさが幸せの尺度ではなく、心が豊かであれば幸せってことですよね。

物がない時代でしたが、母が貧しい人に食べ物をあげたり、祖父が困っている人たちのために、どんどん寄付するので、5人の娘たちは「私たちには着物一枚買ってくれないのに・・・」とブーイングをしていました(笑)。そんな家族を見て育ってきました。

小さい頃から「人は他人(ひと)のために生きている。他人(ひと)さまから生かされている」という考えの家庭環境で育ってきましたので、私の市民活動への思いは、ここが原点になっているのかもしれません。

―― では最後にメッセージをどうぞ

松本　私が市民活動を始めてから30数年がたちます。振り返れば苦労もありましたが、みんなと夢を持ちながらやってきました。富士にもこの市民活動センターのような施設ができ、市民の声によって恵まれた環境がつくられてきていると思います。これからは、個人の要望と社会の要請を合致させる「新しい公共」という発想を根付かせていかなければいけません。そのために、NPOやNGO、市民団体が、手をつなぎ合ってまちをつくっていくことが必要だと思います。

そして、社会教育のあり方が変わっていく時期ではないかと思います。今後は、さらに住みよいまちへと引っ張っていける人材の養成をしていかなくてはならないと思いますね。まちづくりの担い手を育てて、よりよいまちに変わっていくことを願います。

―― ありがとうございました

市民活動アワード 2009

政権交代やデフレ、なかなか抜け出せない不況など、悲喜こもごもな2009年もあとわずか。そんな中でもNPOや市民活動の分野では様々な活動が報告されました。
そこで今回は「市民活動アワード2009」と題し、富士市内でこの1年に行われた注目の活動をご紹介します！！

ドラマ撮影に富士市内ロケ誘致

NPO法人　フィルムコミッション富士

雄大な富士山と駿河湾に囲まれた自然豊かな富士市内には絶好のロケ地ポイントが多数あります。そんな富士にロケを誘致する活動を行っているのが、**NPO法人フィルムコミッション富士**。2009年1月にNPO法人格を取得し、今秋の人気TVドラマ「東京DOGS」など4本、CM2本、プロモーションビデオ2本など、まちの活性化に繋ぐべく、精力的に誘致活動を行っています。

私たちの住んでいる馴染みのまちがドラマなどで見られるのは嬉しいものですね！

新・がんばる商店街77選に選出

NPO法人　東海道・吉原宿

経済産業省・中小企業庁が選定する、地域の住民に役立ち、地域の魅力を発信する「商店街ならでは」の取組みを通じ活性化を図る『新・がんばる商店街77選』に、吉原商店街に高校生の「チャレンジショップ・吉原本舗」を運営する**NPO法人東海道・吉原宿**が選ばれました。

地元吉原商業高校商業ビジネス部とNPO法人との協働で、部活動としての駄菓子屋運営を基本に、商品の販売実習やオリジナル商品開発等も行い、今春には茶どころ富士の特色を生かした茶飴「よっぷ」を発売しました。

盲導犬の育成支援活動

ガールスカウト静岡県第20団

少女の為の健全育成を目指す**ガールスカウト静岡県第20団**では、盲導犬育成事業として募金活動を行っています。今年は福祉まつりやフリーマーケットで得た収益金を、富士宮の盲導犬育成施設「富士ハーネス」へ全額寄付しました。

巡回写真展を開催

障がい児の会　希望の架け橋

病気も障害も違う子供達の写真展
「心の目をひらいて・・・」
～陽だまりから地域へ～
を秋から富士市内で開催中の**希望の架け橋**。親たちから子供への愛情いっぱいのメッセージが、フレームの中の笑顔からあふれ出るほどです。

たごっこパーク with 浜松学院大学

NPO法人　ゆめ・まち・ねっと

子供の居場所づくりに取り組む**NPO法人　ゆめ・まち・ねっと**は、浜松学院大学現代コミュニケーション学科の学生との協働で、遊びを通して子供の理解を深める活動を行っています。島田公園と小潤井川を遊び場とした「冒険遊び場たごっこパーク」で昼間は自由な発想で遊ぶ子供たちと過ごし、夜は「たごっこはうす」に宿泊。衣食住を共にし、数年後に子育て世代に入る学生さんはこの企画を通して、地域の中で子供を育む意義を感じています。

NPO認証 そして子育て支援

NPO法人
富士市子育てサークルネットワーク
ふじママネット

富士市内の子育てサークルをまとめ、交流会を企画したり新規に子育てサークルを立ち上げたい母親たちへのアドバイスなどを行う**ふじママネット**。今年は6月にNPO法人格を認証した記念すべき第一歩として、総会からイベント企画・運営にと大忙しの1年でした。会員数も親子で200名を超え、11月26日にはロゼシアターで、親子で楽しむ「チャリティX'masコンサート」を開催し、大盛況を収めました。

国文祭会場を花でいっぱいに！

富士市花の会

富士市内を花と緑でいっぱいにする活動を行う**富士市花の会**。今秋に開催された「静岡国文祭」の期間中、富士のメイン会場となったロゼシアター周辺には、コスモスやビオラなど季節の花々をきれいに寄せ植えしたプランターを設置し、訪れる人々の心を和ませてくれました。

2009.11.28

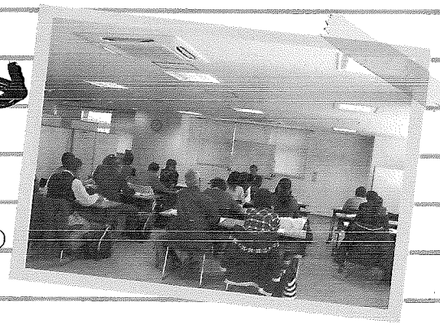
NEC ワーキングマザーサロン

by マドレボニータ

育児休暇中の方、いずれ再就職を考えている方やワーキングマザー、子育てしながら働くことについて考えたい方々がご参加されての活動でした。

2009.12.5

2級ホームヘルパー養成研修



by チャレンジドふじ

身体に障害のある人が、居宅において日常生活を営むことができるよう、生活全般にわたる援助を適切に行う障害者（児）ホームヘルパーの人材確保のための養成研修。毎回講師の方を迎えて、資格取得にむけて真剣に受講中です。

2009.12.13

吉商本舗

by 吉原商業高校

お菓子詰めの最中です。ご予算や用途に応じて駄菓子の詰め合わせを作成します。今回はクリスマス仕様でラッピング♪おしゃべりしながら、たのしく作業してま～ぁす。

年末年始 休館のお知らせ

月	火	水	木	金	土	日
12/28 通常営業 10:00～22:00	29	30	31	1/1	2	3
	休館です					
4 通常営業 平日 10:00～22:00	5	6	7	8	9	10 通常営業 日曜 10:00～17:00

臨時閉館日・・・2010年 1月28日(木)

※館内清掃のため閉館します

掲示板

市民活動団体からの催事・お知らせ

石部　晃子の感じる薬膳

薬膳基礎連続講座

日　時：平成22年１月22日（日）よりスタート
　　＊毎月第4日曜日（8、12月を除く）
　　14：00～16：00

会　場：静鉄ストア　富士吉原店　フードスタジオ

会　費：1回　2,500円（3回一括　7,000円）

定　員：20名（定員になり次第締め切り）

申込み：FAX　0545-53-6627（小櫛）
　　＊富士市民活動センター　コミュニティｆ等に設置の用紙にご記入の上、FAXにてお申込みください。

問い合わせ：薬膳普及協会　ベラテーラ
　　TEL 090-4866-0228（小櫛）
　　090-9125-2673（加藤）

平成21年度第4回　東部パレットNPO講座

「NPOの役割りと将来」
～NPOは、どうすれば生き残れるのか～

日　時：平成22年１月30日（土）
　　13：30～16：00
会　場：東部パレット3F　Bルーム

講　師：松原　明　氏
　　（特定非営利活動法人　シーズ・市民活動を支える制度をつくる会　事務局長）

会　費：500円（資料代）

対　象：任意団体・NPO法人・社団法人・財団法人・行政関係者・一般市民など。

申込み：TEL　055-951-8500
　　FAX 055-952-1433
　　＊富士市民活動センター　コミュニティｆ等に設置の用紙にご記入の上、FAX・E-mail・電話にてお申込みください。

問い合わせ：特定非営利活動法人
　　静岡県東部パレット市民活動ネットワーク
　　〒410-0801　沼津市大手町1-1-3
　　（静岡県東部地域交流プラザ3F）

静岡大学の先生2人が、「ひきこもり」と対話をする2時間。
この講座を「対話」のきっかけにしてみませんか？

ひきこもりの理解から支援へ

演　題：①学齢期のひきこもりを理解し支援するために
　　-心理学の立場から-
　　講師　加藤　弘通
　　（静岡大学大学院教育研究科　准教授）

　　②長期化した「ひきこもり」と向き合うために
　　-20代後半以降を中心に-
　　講師　荻野　達史
　　（静岡大学人文学部　准教授）

日　時：平成22年2月21日（日）
　　14：00～16：00
会　場：富士市交流センター　会議室1（2階）
対　象：ひきこもりの家族、教育関係者、支援者などどなたでも受講できます。
会　費：500円（資料代）
申込み：FAX 054-238-4491
　　E-mail jtogino@ipc.shizuoka.ac.jp
　　静岡大学人文学部・荻野達史研究室まで
　　＊富士市民活動センター　コミュニティｆ等に設置の用紙にご記入の上、FAXにてお申し込みください。
　　mailの場合（お名前・年齢・電話番号・携帯番号・E-mail・住所記入）にてお申込みください。

主催：ＰＩＭエージェンシー

コミュニティｆに常時滞在！！
カウンセラーによる無料相談を受けられます！

『心に溜めてある』『家族や友人にも話せない』『心の病』
あなたにも悩みの1つや2つありませんか？
カウンセラーが常時、会議室に滞在しております。
いつでもお気軽にお越しください。
ご予約も受け付けております。

総合カウンセリング・児童カウンセリング・スクールカウンセリング
家族カウンセリング・結婚カウンセリング・心理カウンセリング・・・

日　時：毎週水曜日
　　10：30～15：00

場　所：富士市民活動センター
　　コミュニティｆ会議室

カウンセラー：田中　教義　氏
　　（社会教育塾・ガバナンス学院）

問い合わせ：ＰＩＭエージェント会・人材支援友の会
　　TEL　080-3680-7377（渡辺）